

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書の訂正報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第4項

【提出先】 近畿財務局長

【提出日】 平成27年11月6日

【四半期会計期間】 第34期第2四半期（自 平成27年1月1日 至 平成27年3月31日）

【会社名】 株式会社ピクセラ

【英訳名】 PIXELA CORPORATION

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 藤岡 浩

【本店の所在の場所】 大阪市浪速区難波中二丁目10番70号

【電話番号】 (06) 6633 - 3500 (代表)

【事務連絡者氏名】 取締役 池本 敬太

【最寄りの連絡場所】 大阪市浪速区難波中二丁目10番70号

【電話番号】 (06) 6633 - 3500 (代表)

【事務連絡者氏名】 取締役 池本 敬太

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1 【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

平成27年5月15日に提出いたしました第34期第2四半期（自平成27年1月1日 至平成27年3月31日）四半期報告書の記載事項の一部に誤りがありましたので、これを訂正するため四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2 【訂正事項】

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

連結経営指標等

第2 【事業の状況】

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

(2) 財政状態の分析

(純資産)

(3) キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

(9) 事業等のリスクに記載した重要事象等を解消するための対応策

第4 【経理の状況】

1 【四半期連結財務諸表】

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

(1株当たり情報)

3 【訂正箇所】

訂正箇所は___を付して表示しております。

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

(訂正前)

回次	第33期 第2四半期 連結累計期間	第34期 第2四半期 連結累計期間	第33期
会計期間	自 平成25年 10月1日 至 平成26年 3月31日	自 平成26年 10月1日 至 平成27年 3月31日	自 平成25年 10月1日 至 平成26年 9月30日
売上高 (千円)	1,500,451	1,897,060	3,012,495
経常損失() (千円)	336,269	61,265	557,124
四半期(当期)純損失 () (千円)	381,226	<u>4,838</u>	492,545
四半期包括利益 又は包括利益 (千円)	375,648	<u>2,192</u>	489,390
純資産額 (千円)	56,797	49,152	111,651
総資産額 (千円)	1,249,655	1,495,137	1,451,343
1株当たり四半期(当 期)純損失金額() (円)	31.09	<u>0.34</u>	38.13
潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	4.6	3.3	7.7
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	471,178	98,779	697,129
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	28,255	98,989	52,267
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	289,011	50,168	687,085
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	68,078	165,200	216,164

回次	第33期 第2四半期 連結会計期間	第34期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成26年 1月1日 至 平成26年 3月31日	自 平成27年 1月1日 至 平成27年 3月31日
1株当たり四半期純利 益金額 (円)	2.11	<u>0.92</u>

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 第33期第2四半期連結累計期間及び第34期第2四半期連結累計期間ならびに第33期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、希薄化効果を有する潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期(当期)純損失であるため、記載しておりません。

(訂正後)

回次	第33期 第2四半期 連結累計期間	第34期 第2四半期 連結累計期間	第33期
会計期間	自 平成25年 10月1日 至 平成26年 3月31日	自 平成26年 10月1日 至 平成27年 3月31日	自 平成25年 10月1日 至 平成26年 9月30日
売上高 (千円)	1,500,451	1,897,060	3,012,495
経常損失() (千円)	336,269	61,265	557,124
四半期(当期)純損失() (千円)	381,226	55,452	492,545
四半期包括利益 又は包括利益 (千円)	375,648	52,806	489,390
純資産額 (千円)	56,797	49,152	111,651
総資産額 (千円)	1,249,655	1,495,137	1,451,343
1株当たり四半期(当 期)純損失金額() (円)	31.09	3.94	38.13
潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	4.6	3.3	7.7
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	471,178	98,779	697,129
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	28,255	98,989	52,267
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	289,011	50,168	687,085
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	68,078	165,200	216,164

回次	第33期 第2四半期 連結会計期間	第34期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成26年 1月1日 至 平成26年 3月31日	自 平成27年 1月1日 至 平成27年 3月31日
1株当たり四半期純利 益金額 (円)	2.11	2.55

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 第33期第2四半期連結累計期間及び第34期第2四半期連結累計期間ならびに第33期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、希薄化効果を有する潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期(当期)純損失であるため、記載しておりません。

第2 【事業の状況】

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

(訂正前)

当第2四半期連結累計期間の売上高は18億97百万円（前年同期比126.4%増）となりました。利益面では、営業損失50百万円（前年同期は営業損失2億92百万円）、経常損失61百万円（前年同期は経常損失3億36百万円）、また、子会社株式を売却したことにより、四半期純損失は4百万円（前年同期は四半期純損失3億81百万円）となりました。

(訂正後)

当第2四半期連結累計期間の売上高は18億97百万円（前年同期比126.4%増）となりました。利益面では、営業損失50百万円（前年同期は営業損失2億92百万円）、経常損失61百万円（前年同期は経常損失3億36百万円）、また、子会社株式を売却したことにより、四半期純損失は55百万円（前年同期は四半期純損失3億81百万円）となりました。

(2) 財政状態の分析

(純資産)

(訂正前)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ62百万円増加しましたが、49百万円の債務超過となりました。これは、第1四半期に金銭債権の現物出資（デット・エクイティ・スワップ）による新株発行により資本金及び資本準備金が1億19百万円増加したものの、当第2四半期において子会社である株式会社ピアレックス・テクノロジーズを売却し、子会社売却による利益剰余金の修正を41百万円行いましたが、当期純損失4百万円となったことによるものであります。

(訂正後)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ62百万円増加しましたが、49百万円の債務超過となりました。これは、第1四半期に金銭債権の現物出資（デット・エクイティ・スワップ）による新株発行により資本金及び資本準備金が1億19百万円増加し、当第2四半期において子会社である株式会社ピアレックス・テクノロジーズを売却することにより、子会社売却益を19百万計上したものの、当期純損失55百万円となったことによるものであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

(訂正前)

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果獲得した資金は、98百万円（前年同期は4億71百万円の使用）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益2百万円を計上し、仕入債務が1億79百万円増加しましたが、売上債権が1億15百万円、たな卸資産が24百万円それぞれ増加したほか、子会社株式売却益69百万円があったこと等によるものであります。

(訂正後)

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果獲得した資金は、98百万円（前年同期は4億71百万円の使用）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益2百万円を計上し、仕入債務が1億79百万円増加しましたが、売上債権が1億15百万円、たな卸資産が24百万円それぞれ増加したほか、子会社株式売却益19百万円があったこと等によるものであります。

(9) 事業等のリスクに記載した重要事象等を解消するための対応策

(訂正前)

<前略>

また、上記のほか、債務超過の状態を改善すべく、第1四半期連結累計期間における金銭債権の現物出資（デット・エクイティ・スワップ）による第三者割当増資に続き、当第2四半期連結累計期間において連結子会社株式の売却によって69百万円の売却益を計上し、純資産の増加を図っております。

(訂正後)

<前略>

また、上記のほか、債務超過の状態を改善すべく、第1四半期連結累計期間における金銭債権の現物出資（デット・エクイティ・スワップ）による第三者割当増資に続き、当第2四半期連結累計期間において連結子会社株式の売却によって19百万円の売却益を計上し、純資産の増加を図っております。

第4 【経理の状況】

1 【四半期連結財務諸表】

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(訂正前)

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)
売上高	1,500,451	1,897,060
売上原価	1,186,040	1,283,390
売上総利益	314,411	613,670
販売費及び一般管理費	607,118	664,275
営業損失()	292,706	50,605
営業外収益		
受取利息	16	19
受取配当金	13	28
保険金収入	-	8,123
投資事業組合運用益	-	15,832
雑収入	19	181
営業外収益合計	49	24,185
営業外費用		
支払利息	6,275	3,770
支払手数料	19,676	7,793
為替差損	8,241	19,629
投資事業組合運用損	6,939	-
その他	2,480	3,652
営業外費用合計	43,613	34,845
経常損失()	336,269	61,265
特別利益		
子会社株式売却益	-	69,741
特別利益合計	-	69,741
特別損失		
固定資産除却損	16	89
転職支援費用	-	3,350
資産除去債務履行差額	-	2,424
業務委託契約解消損	41,120	-
特別損失合計	41,136	5,863
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	377,406	2,612
法人税、住民税及び事業税	3,876	3,318
法人税等調整額	56	560
法人税等合計	3,819	2,757
少数株主損益調整前四半期純損失()	381,226	144
少数株主利益	-	4,693
四半期純損失()	381,226	4,838

(訂正後)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)
売上高	1,500,451	1,897,060
売上原価	1,186,040	1,283,390
売上総利益	314,411	613,670
販売費及び一般管理費	607,118	664,275
営業損失()	292,706	50,605
営業外収益		
受取利息	16	19
受取配当金	13	28
保険金収入	-	8,123
投資事業組合運用益	-	15,832
雑収入	19	181
営業外収益合計	49	24,185
営業外費用		
支払利息	6,275	3,770
支払手数料	19,676	7,793
為替差損	8,241	19,629
投資事業組合運用損	6,939	-
その他	2,480	3,652
営業外費用合計	43,613	34,845
経常損失()	336,269	61,265
特別利益		
子会社株式売却益	-	19,127
特別利益合計	-	19,127
特別損失		
固定資産除却損	16	89
転職支援費用	-	3,350
資産除去債務履行差額	-	2,424
業務委託契約解消損	41,120	-
特別損失合計	41,136	5,863
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失()	377,406	48,001
法人税、住民税及び事業税	3,876	3,318
法人税等調整額	56	560
法人税等合計	3,819	2,757
少数株主損益調整前四半期純損失()	381,226	50,758
少数株主利益	-	4,693
四半期純損失()	381,226	55,452

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(訂正前)

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失()	381,226	144
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,578	2,048
その他の包括利益合計	5,578	2,048
四半期包括利益	375,648	2,192
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	375,648	6,886
少数株主に係る四半期包括利益	-	4,693

(訂正後)

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失()	381,226	50,758
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,578	2,048
その他の包括利益合計	5,578	2,048
四半期包括利益	375,648	52,806
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	375,648	57,500
少数株主に係る四半期包括利益	-	4,693

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(訂正前)

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	377,406	2,612
減価償却費	27,395	43,471
社債発行費償却	1,335	334
たな卸資産評価損	35,638	12,106
子会社株式売却益	-	69,741
貸倒引当金の増減額(は減少)	42	0
受取利息及び受取配当金	29	48
支払利息及び社債利息	6,275	3,770
為替差損益(は益)	5,440	12,752
受取保険金	-	8,123
資産除去債務履行差額	-	2,424
売上債権の増減額(は増加)	133,270	115,758
たな卸資産の増減額(は増加)	49,432	24,839
仕入債務の増減額(は減少)	146,352	179,715
未払金の増減額(は減少)	1,879	11,187
その他	73,930	50,525
小計	459,447	100,390
利息及び配当金の受取額	24	41
利息の支払額	4,015	2,418
保険金の受取額	-	8,123
法人税等の支払額	7,752	7,380
法人税等の還付額	11	22
営業活動によるキャッシュ・フロー	471,178	98,779
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	33,738	18,304
無形固定資産の取得による支出	-	42,625
投資有価証券の売却による収入	7,260	25,620
繰延資産の取得による支出	1,800	-
敷金及び保証金の差入による支出	-	2,027
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入(は支出)	-	61,570
その他	22	82
投資活動によるキャッシュ・フロー	28,255	98,989
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	69,596	1,847
長期借入金の返済による支出	74,340	48,321
株式の発行による収入	293,755	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	289,011	50,168
現金及び現金同等物に係る換算差額	177	585
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	210,246	50,963
現金及び現金同等物の期首残高	278,324	216,164
現金及び現金同等物の四半期末残高	68,078	165,200

(訂正後)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	377,406	48,001
減価償却費	27,395	43,471
社債発行費償却	1,335	334
たな卸資産評価損	35,638	12,106
子会社株式売却益	-	19,127
貸倒引当金の増減額(は減少)	42	0
受取利息及び受取配当金	29	48
支払利息及び社債利息	6,275	3,770
為替差損益(は益)	5,440	12,752
受取保険金	-	8,123
資産除去債務履行差額	-	2,424
売上債権の増減額(は増加)	133,270	115,758
たな卸資産の増減額(は増加)	49,432	24,839
仕入債務の増減額(は減少)	146,352	179,715
未払金の増減額(は減少)	1,879	11,187
その他	73,930	50,525
小計	459,447	100,390
利息及び配当金の受取額	24	41
利息の支払額	4,015	2,418
保険金の受取額	-	8,123
法人税等の支払額	7,752	7,380
法人税等の還付額	11	22
営業活動によるキャッシュ・フロー	471,178	98,779
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	33,738	18,304
無形固定資産の取得による支出	-	42,625
投資有価証券の売却による収入	7,260	25,620
繰延資産の取得による支出	1,800	-
敷金及び保証金の差入による支出	-	2,027
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入(は支出)	-	61,570
その他	22	82
投資活動によるキャッシュ・フロー	28,255	98,989
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	69,596	1,847
長期借入金の返済による支出	74,340	48,321
株式の発行による収入	293,755	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	289,011	50,168
現金及び現金同等物に係る換算差額	177	585
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	210,246	50,963
現金及び現金同等物の期首残高	278,324	216,164
現金及び現金同等物の四半期末残高	68,078	165,200

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

(訂正前)

<前略>

また、上記のほか、債務超過の状態を改善すべく、第1四半期連結累計期間における金銭債権の現物出資（デット・エクイティ・スワップ）による第三者割当増資に続き、当第2四半期連結累計期間において連結子会社株式の売却によって69百万円の売却益を計上し、純資産の増加を図っております。

(訂正後)

<前略>

また、上記のほか、債務超過の状態を改善すべく、第1四半期連結累計期間における金銭債権の現物出資（デット・エクイティ・スワップ）による第三者割当増資に続き、当第2四半期連結累計期間において連結子会社株式の売却によって19百万円の売却益を計上し、純資産の増加を図っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

(訂正前)

項目	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年10月1日 至 平成26年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年10月1日 至 平成27年3月31日)
1株当たり四半期純損失金額()(円)	31.09	0.34
(算定上の基礎)		
四半期純損失金額()(千円)	381,226	4,838
普通株主に帰属しない金額		
普通株式に係る四半期純損失金額()(千円)	381,226	4,838
普通株式の期中平均株式数(千株)	12,263	14,087

(注) 第33期第2四半期連結累計期間及び第34期第2四半期連結累計期間ならびに第33期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、希薄化効果を有する潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期(当期)純損失であるため、記載しておりません。

(訂正後)

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)
1株当たり四半期純損失金額()(円)	31.09	<u>3.94</u>
(算定上の基礎)		
四半期純損失金額()(千円)	381,226	<u>55,452</u>
普通株主に帰属しない金額		
普通株式に係る四半期純損失金額()(千円)	381,226	<u>55,452</u>
普通株式の期中平均株式数(千株)	12,263	14,087

(注) 第33期第2四半期連結累計期間及び第34期第2四半期連結累計期間ならびに第33期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、希薄化効果を有する潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期(当期)純損失であるため、記載していません。